

水田のオーケストラ

筑西市立古里小学校 六年 戸頃 結

私は、ごはんと同じくらい西洋のクラシック音楽が大好きです。いつも私のとなりには相棒のピアノがあって、素敵な音楽に囲まれた生活をしています。豪かなオーケストラの演奏以外にも、私たちの周りには興味深い音楽があふれています。私は、ちよっとした好奇心から、お米作りと音楽の結び付きの可能性を探りたくなりました。私は、ゆっくりと

2

1

目を閉じて、心を落ち着かせて、水田に耳をすませました。すると、静かな水田から四季折々の様々な音楽が聞こえてきます。水田には、ときにはユニークで、ときには楽しく、そしてときには心をいやしてくれ、そんな多彩なオーケストラがひそんでいるようです。私の家の目の前には、雄大な筑波山を背景にした水田が辺り一面に広がっています。普段は気に留めない水田の音でも、注意深くきくとリズムをともな、た連続的なせん律がき

こえてきます。春の季節には、水田からは土  
 をうるおす水のせせらぎが聞こえてきます。  
 すんだ水の流れる音は、心にうるおいを与え  
 どころか生命力を感じさせます。水田にセキレ  
 イが訪れると、チチツチチツとい、たかわい  
 らしいさえずりも聞こえてきます。それは私  
 の心を和ませてくれます。夏の季節には、水  
 田から風にゆれる稲の音が聞こえてきます。  
 丈夫に育った稲の葉の間に緑風が吹いて、サ  
 ラサラと優しい音を奏でます。それは、私を  
 さわやかな気持ちにさせてくれます。また、  
 星空の夜には、水田に生まれたカエルたちの  
 ケロケロ、クワツクワツとい、た大合唱がき  
 こえてきます。声楽家のように堂々と歌うカ  
 エルたちの歌声は、自由ながらも同一のせん  
 律をくり返して、まるで輪唱をしているよう  
 です。水田は夕立のときにも音を奏でます。  
 大つぶの雨がザーザーと稲の葉を打つ音は恵  
 みの雨を喜んで稲たちがさわぎ出したようで  
 す。秋の季節には、黄金色の重そうな稲ほが

大きくゆれるワサワサとい、た音がきこえて  
 きます。鈴虫の鳴き声をアクセントにして幻  
 想的な楽曲をアンサンブルしているようです。  
 しかし、冬の季節には、水田の稲はす、か  
 り収穫され、水はなくなり、季節の小鳥たち  
 も冬眠の時期をむかえます。ひ、そりと静ま  
 り返、た水田からは、木がらしが吹いたとき  
 のがわいた音だけがきこえてきます。それは、  
 寒さときびしさを感じさせます。そのような  
 ときには、にぎやかな水田のオーケストラも、  
 春の交よき、う曲の演奏に備えて一休みです。  
 き、と来春のコンサートに向けて、新しい楽  
 曲の創作にいそしんでいるのだと思います。  
 水田がおりなす音楽には、豪かなオーケス  
 トラとは違、た音楽の美しさと楽しさが感じ  
 られます。それらは、四季折々の稲たちの気  
 持ちを表現しているようです。き、と、こん  
 な素敵な演奏ができるのは、豊かな自然環境  
 が育んだオーケストラだからなのだと思います。  
 す。